

参画機関

主幹機関:九州工業大学、 共同機関:北九州市立大学、長崎大学、株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ (FVP)

目指すスタートアップ・エコシステム

KIEPS は、既存産業の変革を実践できる技術・人材供給の場となること、さらに北部九州から、九州全体の産業振興、ユニコーン企業の創出を目指す。2025年度末には、北九州市を拠点とする北部九州で、産学連携や事業化の橋渡しする学際組織、インターユニバーシティの設立を目指す。



(1) 起業活動支援プログラムの運営

- 研究開発課題:8件/年度を予定。
- FVPの持つインキュベーションプログラムやJST・START事業プロモータとしてのノウハウ(ステージゲート方式等)を活かし、起業活動支援プログラムを実施。
- 外部の専門家の参画により、きめ細かな指導を行う体制を構築すると同時に、経営者人材を発掘する体制も構築。

(2) 起業家育成プログラムを運営する指導・支援人材の育成

- 各大学の研究者やスタッフに対して、起業家を育成・支援するための方法やノウハウを指導。
- 本PJで育成した指導者候補は、起業家育成プログラム(基礎コース・応用コース・実践コースの3ステップ)を各大学の研究者や学生に対して提供する。

(3) 起業環境の整備

- 各地区にあるインキュベーション施設、オープンスペース等を大学の垣根を越えて活用できる仕組みを構築。
- 3大学の学生や研究者等が利用可能なKIEPSアーカイブシステムを構築する。授業や演習等の動画コンテンツをアーカイブ化して蓄積し、オンデマンド受講可能な学習環境を整備。

(4) プラットフォーム内外のエコシステムの形成

- 北九州市がモノづくりで培った基盤技術をベースに、SDGsで挙げられる課題の解決を実施。
- 「ロボティクス」「環境・食・海洋」「AI/IoT」「医療・ヘルスケア」の4分野を軸にイノベーションを創出。
- 拠点都市である北九州市、福岡市のプラットフォームGAP NEXTと連携強化し、北部九州での起業家育成支援およびスタートアップ創出に貢献。

活動成果

- 8月に文部科学省、スタートアップ拠点都市代表の北九州市長も参加した、KIEPSキックオフシンポジウムを開催。ウェビナー形式で実施し、200名を超える参加。
- 9月よりリーンローンチパッド型のインキュベーションプログラムを開始。

